

# 競技注意事項（第7戦）

※競技進行上、競技開始時刻に多少の変更もあり得るので、アナウンスを聞き漏らさないように注意すること。

1. 本大会は、2014年度(財)日本陸上競技連盟競技規則および競技注意事項により競技を実施する。
2. 本競技場における朝の練習は8:15までとする。投てき練習は一方で行い、周囲に十分気をつけて行う。ウォーミングアップでのフィールド内の使用は禁止する。また、競技中のバックストレートを中心としたウォーミングアップは、競技の妨げにならないように注意する。

## 3. 競技者の招集について

- (1) トラック競技の招集場所は、100m スタート後方に設ける。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25 分前	15 分前
フィールド競技	40 分前	30 分前
棒高跳	60 分前	45 分前

## (3) 招集方法

- ア. 競技者は、出場種目の招集開始時刻には招集所で待機する。
- イ. 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
- ウ. 他の種目と兼ねて出場する競技者は、そのことを競技者係に申し出て、出場の確認を受ける。

### <トラック競技>

- ・ 競技者係のところに行き自分のナンバーカードを見せ、自分の種目・組・レーン・氏名を伝え、出場することを競技者係に伝え確認を受ける。
- ・ 点呼が終了しても、勝手に移動せず、競技者係の指示に従う。

### <フィールド競技>

- ・ 競技の進行に注意し、所定の通路より各競技場所に時間までに集合する。
- ・ 競技場所において、審判員に点呼を受ける。
- ・ 点呼が終了しても、勝手に移動せず、審判員の指示に従う。

- (4) リレーのオーダー用紙は、1組目の招集終了時刻の1時間前までに競技者係に提出する。

## 4. 競技場への入退場について

- (1) 競技役員の誘導に従い規律ある行動をとること。競技者以外はトラック、フィールドに立ち入ることはできない。トラック内は場内指令の指示に従う。
- (2) トラック競技出場者は、フィニッシュ後、北側ゲート（ゴール正面）を通り退場する。ゴール横のゲートからの退場は禁止する。また、本部前の通行も禁止する。
- (3) フィールド競技出場者の退場については、当該競技役員または場内指令の指示に従う。

## 5. ナンバーカードについて

- (1) 使用するナンバーカードは各自で用意し、2014年度アスリートランキング登録のナンバーを使用する。
- (2) ナンバーカードは、必ずユニフォームの胸背に確実につける。ただし跳躍競技の競技者は胸・背のいずれかでよい。
- (3) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右側後方につける。3000m は、黄色のレーンナンバーカードを使用する。
- (4) ナンバーカードをつけずに競技に出場することはできない。

## 6. 競技について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。
- (2) スパイクのピンは11本以内、長さは9mmを超えてはならない。走高跳・やり投げの場合、12mmを超えてはならない。
- (3) 競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用する。やりは検定を受けて通ったものを使用することができる。検定時間は9時00分までとする。検定場所は、招集所側用器具庫付近で行う。棒高跳用ポールは個人所有のものを使用できる。
- (4) 競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。スターターの合図は英語で行う。また、スタートにおいて不適切行為があったとして、同じレースで2回の警告を受けた競技者は失格とする。（小学生のスタートは日本語で行う。フライングについては旧ルールを適用する。）
- (5) トラック競技におけるスターティングブロックセット後のスタート練習は、時間短縮のため30mまでとする。
- (6) 事故防止のため、短距離走ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- (7) 男女1000m、男女3000mは安全面を考慮して階段スタートを行う。
- (8) 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、スタンドからの助言については競技運営や他の競技者の競技妨げにならない範囲で認める。ただし、ビデオ・携帯電話もしくは類似の機器等を競技者に見せることは可能だが、競技者が試技場内に持ち込むことはできない。
- (9) 走幅跳の競技者は、競技中の移動およびウォーミングアップの際、やり投げの競技に注意を払うこと。
- (10) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

### (走高跳)

男子Aピット	練習1m10	試技開始1m15～1m80	まで5cm	以降3cm上がりとする。
男子Bピット	練習1m60	試技開始1m65～1m80	まで5cm	以降3cm上がりとする。
女子Aピット	練習1m00	試技開始1m05～1m50	まで5cm	以降3cm上がりとする。
女子Bピット	練習1m30	試技開始1m35～1m50	まで5cm	以降3cm上がりとする。

なお、小学生は足裏着地とする。

(棒高跳) 最初の高さ、バーの上げ方は出場選手の状況を見て決定する。

## 7. その他

- (1) 正面開門時間は6:15、ゲート開門時間は6:45を予定している。
- (2) 受付および参加費の納入は、7:00頃から正面スタンド下大会本部で行う。
- (3) プログラムの訂正は、7:45までに大会総務に申し出る。

- (4) 役員全体打合わせは 7:45 から大会本部で行い、その後各パート打合わせを行う。
  - (5) けがや体調不良に関しては、応急処置のみ大会主催者が行うが、以後の責任は負わない。
  - (6) ゴミの始末は各自・各チームが責任を持って行い、競技場にはいっさい捨てないこと。
  - (7) テント等が強風で飛ばないように、各使用団体で責任を持って管理すること。
8. 審判業務について
- (1) 用器具係担当部署の準備が出来次第、用器具のセットは各パートで行ってください。また、終了後の撤去については、パートごとに行ってください。終了後は用器具係に報告してください。
  - (2) 審判の数が不足しています。参加団体から必ず1名は審判をやっていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。また、競技の終了した選手は、補助役員の協力をお願いします。